



横浜農と緑の会

はま農楽だより

No. 44

(H29年 6月発行)

会員の皆様、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は、“はま農楽”へのご支援を賜り有難うございます。

★★★ “はま農楽” 第16回総会 開催 ★★★

- 日時：平成29年4月21日（金） 13:15～15:00
- 場所：かながわ県民センター大ホール
- 参加者：65名 関係機関来賓4名

第一部は瀬山幸夫さんを司会として始まり、干川純運営委員の挨拶の後、議長に関口勇さんを、書記に井戸慎一さんと渡邊雅之さんを選出して、総会が開始されました。長田明子さんより、出席者数65名 委任状89名 総会員175名で、過半数を超え総会成立となったことが報告されました。



議案の審議は、北村理運営委員より第1号議案「平成28年度活動報告」が行われ、続いて、干川純会計担当運営委員より、第2号議案「平成28年度収支決算報告」と第3号議案「平成28年度援農コーディネーター支援事業収支決算報告」が行われ、承認されました。

次に、第4号議案「平成29年度運営委員の選出」が行われ、干川純新代表を含む新運営委員が承認された。

続いて、干川純新代表より、第5号議案「平成29年度活動計画案」が提案され、「トリプルEでつなげる“はま農楽”（Ennou（援農）・Egao（笑顔）・Eco（エコ）」を、今年度もスローガンとし、援農コーディネーター

事業とともに、「笑顔で、楽しく、元気に」をモットーに、横浜の農と緑を守る組織として、今年度の方向性が示されました。そして、質疑応答や討論がなされた後、承認されました。又、第6号議案「平成29年度収支予算案」、第7号議案「平成29年度援農コーディネーター支援事業収支予算案」と第8号議案「会則の改定」について説明がなされ承認されました。



第二部は、記念講演が行われました。講演者として、たねとファーム株式会社 川合泉 代表取締役様（株式会社サカタのタネ：100%出資）をお迎えし、「タネがつながる横浜農業の過去・現在・未来」という題目で講演頂きました。過去は、タネ屋の歴史と野菜の歴史、現在は、最新品種から見る農の現代事情、未来は、農業女子と一緒につくる未来の食卓、最後はたねとファームで取り組んでいる面白い作物事例のお話で、女性の視線とユーモアを交えた楽しいお話となりました。熱心な質疑応答や活発な意見交換も行われ、充実した講演となりました。

「援農コーディネーター支援事業」は、平成26年に5年間の実施協定書が横浜市と締結され、平成30年度まで継続されます。“はま農楽”の発展を願って、総会は幕を閉じました。

来賓として次の方々にお越し頂きました。ご多用の中を有難うございました。

横浜市環境創造局 みどりアップ推進部 環境活動支援センター
センター長 境田康弘様 担当係長 朝倉友佳様 担当 松木綾子様 担当 鈴木雄大様

今後の「はま農楽」運営について

代表 干川 純

今年 16 回目の総会を開催できたことは、2002 年に“はま農楽”設立に努力された皆様、日々活動されている会員の皆様、及び横浜市の職員の皆様のおかげと、感謝しております。

昨年は、代表・副代表不在と、今までにない 1 年でありましたが、会員の皆様、横浜市の職員の皆様の、ご理解、ご協力により無事のりきることができました。

しかしながら、運営委員会のメンバーは数年前から比較すると、半減しております。昨年から会則の改訂により、運営委員の補佐としてサポート委員を委嘱できるようになり、数名のサポート委員の協力を得ながら、運営しております。しかし残念ながら、今までの運営委員会の組織及びイベントの見直しをせざるを得ません。

まず 29 年度は、組織としてイベント班の廃止、野菜・花班の統合。

イベントとして、“秋の視察研修会”の中止を運営委員会として決定致しました。

組織は長くなりますと少しずつ見直しが必要になってくると思います。

今後多少の変更はあると思いますが、“はま農楽”の設立目的である、

「会の活動を通して、農地や緑地の保全に貢献する。」

「会員や農業者との交流を通して、農業や自然環境への理解を深める。」

「楽しみながら、農や緑に親しむ。」

の目的は忘れずに、今後も活動していきたいと思っております。

今後共、皆様のご理解、ご力を宜しくお願い致します。

援農・緑化ボランティア 10ヶ条

1. 気持ちの良い挨拶をしましょう。
(お早うございます。こんにちは。お先に失礼します。・・・)
2. 作業のしやすい服装でしましょう。
(ケガ、作業効率を考えて・・・)
3. 私語はつつしみ だらだらした作業は止めましょう。
4. 援農先の園主の考えで作業しましょう。
(自己流、マイペースは避けましょう。)
5. 他の農家の情報は、質問された範囲で最小限にとどめましょう。
6. 個人情報・農家情報の扱いに最大限の配慮をしましょう。
7. 持参した弁当・飲み物のゴミは、自宅に持ち帰りましょう。
8. 使用した道具は、きれいにしてきちんと元のところに戻しましょう。
9. 作業時間を守りましょう。
10. 休みの予定は、なるべく早く連絡しましょう。

運 営 委 員 & 組 織

退任の方々、大変お疲れ様でした。そして、新しいメンバーを加えて、活動開始です。

平成28年度 (運営委員10名)		平成29年度 (運営委員10名)	
役 務	氏 名	役 務	氏 名
代 表	---	代 表 (果樹リーダー兼務)	千川 純
副代表	---	副代表 (野菜・花リーダー兼務)	井戸 慎一
会 計 (果樹・植木リーダー兼務)	千川 純	会 計 (広報リーダー兼務)	三沢 幸男
		会 計 (野菜・花 兼務)	市村 洋子
会計監査	長田 明子	会計監査	長田 明子
会計監査 (広報兼務)	三沢 幸男	会計監査	関口 勇
広 報リーダー	大澤 正樹	広 報リーダー (ホームページ)	(三沢 幸男)
広 報 (ホームページ)	(三沢 幸男)	広 報	酒巻 史朗
イベントリーダー	高木 美千子		
イベント	矢吹 幸子		
イベント	東 さち子		
果樹・植木リーダー	(千川 純)	果 樹 リーダー	(千川 純)
野菜リーダー	井戸 慎一	野菜・花リーダー	(井戸 慎一)
		野菜・花	勝田 みほ
		野菜・花	(市村 洋子)
		野菜・花 (二次加工・兼務)	菅原ゆう子
花リーダー	北村 理		
二次加工リーダー	浅野 泰夫	二次加工リーダー	浅野 泰夫
		二次加工	(菅原ゆう子)
サポート委員 (4名)		サポート委員 (5名)	
サポート委員 (イベント担当)	関口 勇	サポート委員 (広報担当)	大澤 正樹
サポート委員 (広報担当)	西野 洋子	サポート委員 (広報担当)	西野 洋子
サポート委員 (果樹担当)	瀬山 幸夫	サポート委員 (果樹担当)	瀬山 幸夫
サポート委員 (会計・野菜担当)	渡邊 雅之	サポート委員 (会計・野菜担当)	渡邊 雅之
		サポート委員 (花担当)	北村 理

平成29年度はイベント担当と植木担当を廃止、花担当は野菜担当と統合しました。

環境活動支援センターから

はま農楽の皆様、いつも農家への援農や地域のボランティア活動等に御尽力いただき、ありがとうございます。人手不足の農家にとって、皆様の迅速かつ精力的な活動は大変力になっています。今年度も、市民農業大学講座修了生のうち32名が新たにはま農楽に入会されました。新しいメンバーと一緒に、はま農楽の活動を一層盛り上げていただければと思います。

近年は、春を感じたのも束の間、早い時期から厳しい暑さの日々が多くなり、局所的な豪雨や雷雨など、難しい天候も多くなりました。みなさん、体調管理には苦慮されると思いますが、お体と相談しながら、健康第一での活動をお願いいたします。

今年度も、みなさまの活動の充実に向けて支援してまいりますので、よろしく願いいたします。御相談などがありましたら、いつでもお気軽に御連絡ください。

環境活動支援センター長 境田康弘
担当係長 朝倉友佳
担当 松木綾子



農と緑のふれあい祭り 今年もやります！

毎年環境活動支援センターで開催している「農と緑のふれあい祭り」を、今年も11月3日に開催します。はま農楽のみなさんも、是非今年も御参加いただき、祭りを盛り上げていただければと思います。よろしく願いします！

■ 編集後記 ■

みなさまのご協力で、「はま農楽だより44号」がようやく出来上がりました。今年度は、新代表（1年間不在）もきまりましたが、運営委員の不足等で秋の視察研修会の中止を決定しております。新代表の“今後の「はま農楽」運営について”にも記載しているように「はま農楽」の設立目的を忘れずに、広報担当として楽しい「はま農楽」を目指し、お手伝いが出来ればと考えております。また「ホームページ」や「はま農楽だより」を通し情報発信して、みなさま一人一人から協力のお声掛けを頂ける様と考えております。（三沢）

■ 編集・発行 ■



横浜農と緑の会

はま農楽

〒240-0045 保土ヶ谷区狩場町213
横浜市環境活動支援センター内
TEL 711-0748
FAX 711-0748
E-mail : gqrx4zfd@bird.ocn.ne.jp

HP:http://www18.ocn.ne.jp/~hamanora/index_hamanora.html